

震災以降の企業立地について

真政会 半沢 正典 議員

問 本市経済の活性化、雇用見込み者数は約280名である。

答 本市が把握している東日本大震災以降の企業立地状況について、本市において新増設を行った企業の件数は34件、新規雇用見込み者数は約350名である。

このうち、ふくしま産業復興企業立地補助金を活用した企業は29件、新



佐倉工業団地の様子

吾妻高原牧場及び吾妻高原牧場繁殖センターの廃止について

無所属 大平 洋人 議員

問 吾妻高原牧場及び吾妻高原牧場繁殖センターについては、本年3月末で廃止することに

なると聞かれましたが、震災から廃止に至るまでの経過及び市から賃借料が支払われた関係団体に対して廃止後どのような対応がとられるのか伺う。

答 吾妻高原牧場及び吾妻高原牧場繁殖センターは、長年に渡り本市畜産振興の中心的役割を果たしてきたが、近年利用する農家が極めて減少したうえ、原発事故の影響により放牧の自粛を余儀なくされている。

また、地形的な条件等

により除染の効果が低く、牧草地を従前どおりに回復させるには、かなりの時間と経費を要することから、事業再開が困難な状況となっている。

このような状況を踏まえ、吾妻高原牧場のあり方を含む今後の畜産振興施策を検討するため、平成25年2月、畜産農家の代表者で構成する福島市畜産振興研究協議会を設置し協議を進めてきた。

その結果、同年10月、同協議会から市長に提言書が提出され、その内容を踏まえて廃止を決定した。

また、吾妻高原牧場の敷地のうち共有林管理組織から賃借している土地については、平成26年度

末をもって賃貸借契約を終了し、土地を返還する考えである。

土地所有者である共有林管理組織の代表者には、原発事故後、定期的に牧場の現状等について報告し、今回の牧場廃止に至る経過についても概ね了解をいただいております。円滑に契約が終了できるように協議していく。



廃止となる吾妻高原牧場

「コミュニティ拠点としての各地区の集会所の改修について」

真政会 二階堂 武文 議員

問 集会所は、育成会から敬老会まで各年齢層の地域住民が利用している地域のコミュニティ拠点である。

民間住宅においては高齢者住宅改修助成事業がい集会所の改修を計画的

に促すために、本市の高齢者住宅改修助成事業を参考にした集会所の改修事業の創設が必要と思うが、見解を伺う。

答 現在、集会所の新築・改修工事については、県の「人にやさしいまちづくり条例」に基づき建設をお願いしているところだが、過去において整備された集会所施設については、本市の「集会所建設費補助交付要

税及び料金の催告等の取り組み状況について

真政会 小松 良行 議員

問 税及び料金の収納にあたっては、コンビニ納税など納税しやすい環境整備によって滞納率の改善を図っている。さらに、現年度課税分の収納率を向上させるために電話での催告を進めているとも聞く。

このような税及び料金の催告等の取り組み状況と成果について伺う。

答 市税・国保税の催告等の取り組みについては、納期後の督促状のほか、即時納入通知書・催告書等を一齐に送付し、夜間・休日の窓口での相談のほか、電話・訪問催告等を適時行いながら、早期の滞納解消に努め、滞納額の圧縮を図っている。



また、料金等の債権についても、債権ごとに督促状のほか、催告通知、電話・訪問催告等の取り組みにより収納に努めている。



集会所の外観